

科目名

政治・経済

普通科選択

2年次・2単位

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

位置づけ 1年生の時に学習した「公共」の政治的知識をもとに、今日の経済的な諸課題を中心に、国際的課題と結びつけて考察することにより、現代社会の特徴を理解する授業です。

■使用する教材

- ・教科書 ・最新政治経済資料集 2024
- ・プリント ・ワークシート ほか

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- 予習 教科書の用語調べ
- 授業 教科書の確認 ワークシートの完成
(ニュース調べ・グループ発表)
演習問題
- 復習 振り返り問題の実施と解説

■学習する単元とおおよその時期

◎後期4単位を、日本経済2単位と国際経済2単位に分けて、複数の教員が同時に展開する

現代日本の経済【10月～3月】

- ・市場経済の機能と限界
- ・持続可能な財政および租税のあり方
- ・金融を通じた経済活動の活性化

現代の国際経済【10月～3月】

- ・相互依存関係が深まる国際経済
- ・国際経済において求められる日本の役割
- ・国際社会の諸課題の探究

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 現代の社会的事象にかかわる基本的な事柄を理解し、さまざまな資料を活用しながら、多面的・多角的にその課題を捉えることができる。	現代の社会問題の背景や原因を分析し、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けている。
	B 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	現代の社会問題の背景や原因を分析し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる課題を追究するとともに、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、演習問題 課題の提出内容	定期考査、授業中の発言内容 グループ発表内容	授業中の参加態度 課題の完成度や取り組み グループ発表への取り組み